

# 子育てしながらまちにでよう！



NPO法人せたがや子育てネット  
代表理事 松田妙子

# このギャップを解消したい！

子育て中の親はおおむね、「子育ては大事な仕事である」と思っている

しかし「子育ては大事な仕事であると社会から認められている」と感じていない？

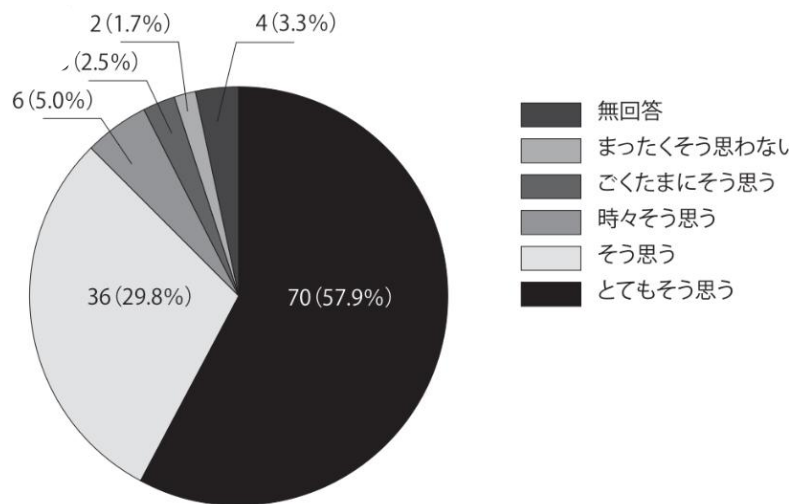


図3-36. 子育ては大事な仕事である (N=121)

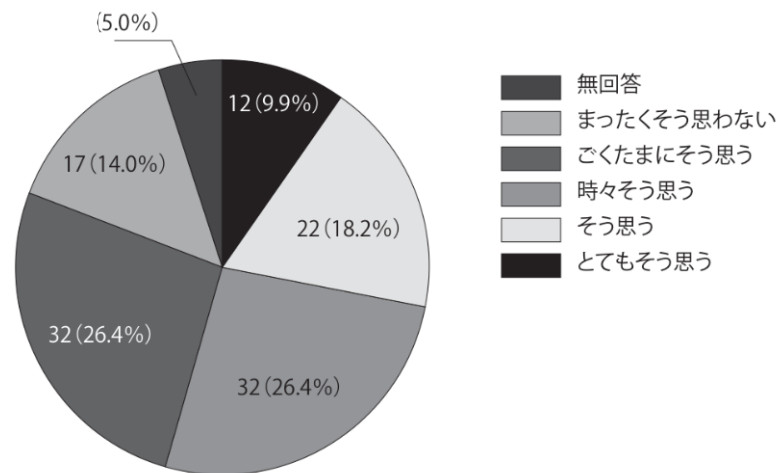
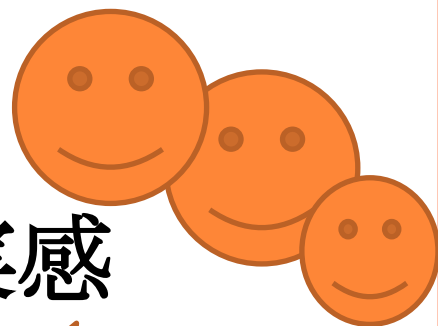


図3-37. 子育ては大事な仕事であると社会から認められている (N=121)

(東京都次世代育成支援後期計画評価に係る調査より)

近所に顔や名前のおかる  
赤ちゃんが何人いますか？

地域での子育て  
支えられている実感



10人以上いる  
大人を増やす

知っている「あの子」の声は  
騒音にならない！



「夕暮れ時にバスで乗り越して降りた、  
知らない街のバス停にいるみたい」

- 妊娠中からまちにつながる仕掛け
- 産後にはあったかい具だくさんのお味噌汁とごはん
- してもらって嬉しかったことは次の人に分けてあげられる



「お祭りで焼きそばを買ったけれども  
地域の絆をちっとも感じなかった」

- 東京で子育てするアイデンティティ
- 子どもたちにとっての「ふるさと」
- 地域のまつりに「居場所」ができるには、  
日常が大切
- ワーク・ライフ・コミュニティバランス
- 自助・共助を助ける「公助」



# おでかけひろばぶりっじ@ROKA 世田谷区地域子育て支援拠点

目標:地域に開かれた場から、立ち話ができる関係を増やす

- ⇒街で挨拶する人が増えた。
- ⇒外で遊ぶ機会が増え、地域の人が声をかけてくれるようになった。
- ⇒地域住民としてボランティアに参加できた。
- ⇒当事者も運営に関われる  
子連れにも役割があり嬉しい。

身近な地域で  
「子どもがいる暮らし」  
「子どもの育ち」を支える



# 参考:おでかけひろばぶりっじの実践から ハッピーセパレーション



「子どもといるのがしんどい、  
ちょっと休みたい」

いつでも、安心して、  
ちょっとだけでも

「三枚のおふだ」

「ごめんね」から  
「いい時間をありがとう」へ  
一時保育というサービスではな  
く、コンセプトを伝える。





参考:実践から

# 赤ちゃんとのふれあい授業

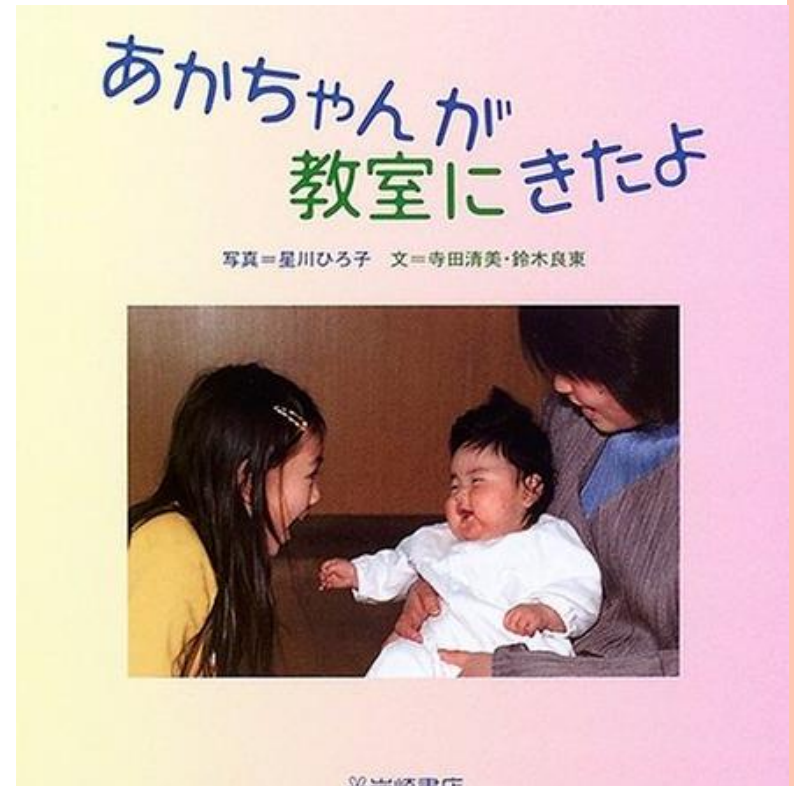
目的:次に親になっていく世代が

子どもがいる暮らしを見聞きし、成長発達の  
イメージを得る

自分が生まれてきたこと  
を「根っこ」と捉えて  
自己肯定感が高まる

子育て中の親に  
地域での役割をつくる

## 循環を生み出す





# 今、地域に必要な3つの機能

## ○ ぶりっじ機能

誰かと誰かをつなぐ  
ナニカとナニカをつなぐ

## ○ アジト機能

自分をわかってくれる仲間  
ナニカをたくらむ

## ○ トランポリン機能

うっかりおっこちても、受け止めてくれる  
跳ね上げてくれ、しかるべきところへ戻れる



# 都の役割は中間支援、人材育成

## ○発生予防とアウトリーチ

起こらないことを、起す  
何も無いときからつながる

## ○エピソードからはじめる

たったひとりでもいい

## ○一口大に切る

できる人ができるだけ

## ○オーナーシップをはぐくむ

自分たちで見守り育てるまち

